

## 市民の健康増進について

**Q** 市民の健康増進を図るため、1人1スポーツを提唱していただきたいです。また、自治医科大学と市役所関係部署で連携を強化し、具体的な運動プログラムやそれによる効果を市民に示していただきたいです。

**A** 庁内や各種地域組織団体と健康づくりに取り組んでおりますが、特に高血圧・糖尿病・高脂血症等有病者の対策事業として、運動も含めた生活習慣を見直すことで検査値などの改善につなげるため、一人ひとりに合わせた保健指導を実施しています。自治医科大学との連携については、検診時の「血管年齢検査」、看護学部と共同で「生活実態調査」などを実施しております。今後も、よりよい健康づくりを実践していくために、健康づくりボランティア団体等とも連携を強化し推進してまいります。

## 主権者教育について

**Q** 主権者教育について、どのようなテーマ・方法で実施されていますか。また、今後のテーマがあれば教えてください。

**A** 若者が政治や選挙に対して自ら主体的に行動する機会を提供することが重要であると考えております。その一環として、市内高等学校などにおいて選挙出前講座の実施、中学校の生徒会選挙において実際の選挙で使用している投票箱や記載台の貸し出しを行っております。また、選挙権を有する高校生を対象にした投票立会人の募集、中学生議会の開催、明るい選挙啓発ポスターコンクールの実施、小学校・義務教育学校3年生の市庁舎見学や6年生へ「みんなの市議会」のパンフレットの配布なども行っております。今後の取り組みとしては、女性の政治参加に対する意識の改革、人材育成の必要性や、女性が政治に参加しやすい環境づくりが重要で

あると考えております。

## 小中一貫教育のグランドデザインの方向性について

**Q** 現状の施設形態は、一体型（南河内学区）と分離型（石橋、国分寺、南河内第二学区）とがありますが、今後もこの方針は変わらないでしょうか。

**A** 施設等に変更がない場合には、この方針は変更せずに進めてまいります。地区ごとに作成しているグランドデザインについては、基本的には2年に1度、見直しを図っております。今後も、学習指導要領の改訂の時期や、国や県からの指示事項などを踏まえて、定期的に見直しを進めてまいります。



## 人材育成について

**Q** 高度情報化社会において、地域間競争を勝ち抜くためには、長期的な人材育成を何より優先すべきです。

**A** 市職員の人材育成としましては、新時代に求められる職員像として、①時代や状況の変化を読み取りながら仕事を進める職員、②市民から信頼される職員、③市民と連携協力して地域づくりのできる職員の3つの基本理念を掲げております。今後も目まぐるしく変化する時代のニーズを読み取りながら、人材育成のための様々なプログラムを実践してまいります。

## 少子化対策について

**Q** 現在、少子化を肌で感じています。次世代が住む政策、他地域からの移住を進める政策をお願いします。

**A** 若者の定住を一層促進させるため、移住に関する各種補助金制度をはじめ、市の魅力ある

情報を市外に積極的に発信し、東京圏からの移住の促進を図っております。今後も、現在造成中の「しもつけ産業団地」による企業誘致によって雇用の創出を図り、Uターン就職に向けた取り組みなど、さらなる移住定住の促進に努めてまいります。

## 県南広域的水道整備事業について

**Q** 市の水道資源は100%地下水で全く問題ありません。川の水を使う根拠を説明してください。また、多くの市民がこの計画を知らないの、周知していただきたいです。

**A** 地下水に100%依存する本市において、この良質で安全な水道水を供給することにリスクが想定される限り、リスク分散の観点から県南広域的水道整備協議会に参加し、地下水と表流水のバランスを保ちながら供給するシステムの構築を引き続き検討していくことが、現段階では必要なことであると考えてお

ります。市民の皆さまには、広報紙やホームページへの掲載、市民ネットワークとの意見交換や市議会への報告など、様々な機会を通して情報を発信していきたいと考えております。

## 市長の政治家としての考えについて

**Q** 市長になって一番やりたいことは何か、どのように実行しようとしているのかをお聞きます。

**A** 下野市の魅力とポテンシャルを生かしたまちづくりです。3駅を中心に都市計画を力強く進め、人口増、企業誘致で新たな財源を確保し、企業やたくさんの方、特に子育て世代や働き世代の方に選んでもらえるまちづくりを進めていきます。また、本市は病院、クリニックが多くありますので、医師会としっかり連携を図り、安心して医療を受けられる政策に力を入れていきたいと考えております。